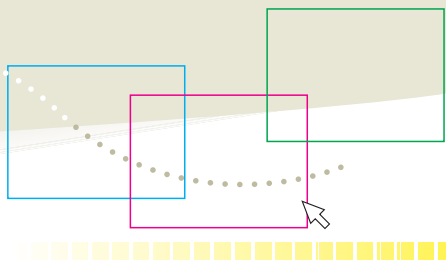


第2章 活用事例



① 絵を描くための基本操作

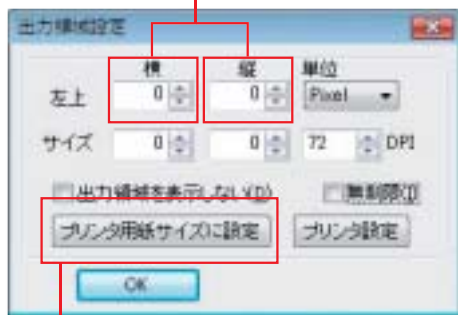
キャンバスの用意をしよう

- 1 [新規ファイル] ボタンをクリックします。
[新規ファイル] ボタンをクリックすることで、新しいキャンバスを作成することができます。
[出力領域設定]メニューが表示されます。
- 2 [出力領域設定]では、キャンバスの大きさを設定することができます。今回は、無限のキャンバスを使用しますので、「無制限」にチェックが付いていることを確認し、OK をクリックします。

(詳細はソフトウェアマニュアルの31ページを参照)



出力領域の値を入力する



プリンタの用紙サイズに合わせる場合に選択する


出力領域設定

ここでは、事前に出力のサイズを指定することもできますので、学校で使用されているプリンタの用紙に合わせた、出力領域の設定が可能です。出力領域に設定されると、右の図のように緑の枠が表示され、枠の内側に表示されているイラストや写真が、印刷・保存などの出力の対象になります。

無制限にすると...

印刷の時は、自動的に使用しているプリンタの用紙サイズに調整して印刷してくれます。保存する時はキャンバス全体を保存します。

自由にかくがきをしてみよう

- 1 ツールバーのペン選択の右の  をクリックし、ペンを選択します。
「ノーマルペン」のサブウィンドウが表示されます。このサブウィンドウはタイトルバーをドラッグすることで移動できるので、使いやすい位置へ移動します。

(ペン設定の詳細はソフトウェアマニュアルの42ページを参照)



ドラッグしてペン先のサイズを設定する

値を入力してペン先のサイズを設定する

- 2 カラーメーカーの標準パレットから使いたい色を選択しクリックします。

【カラーメーカー】 標準パレットを使用します。

標準パレット

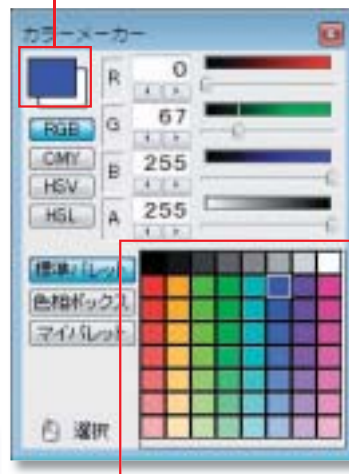
色が全部で64種類用意してあります。この中から、使いたい色をクリックして選択します。

絵具で色を描くときにパレットから色を選ぶような感覚で使用できます。

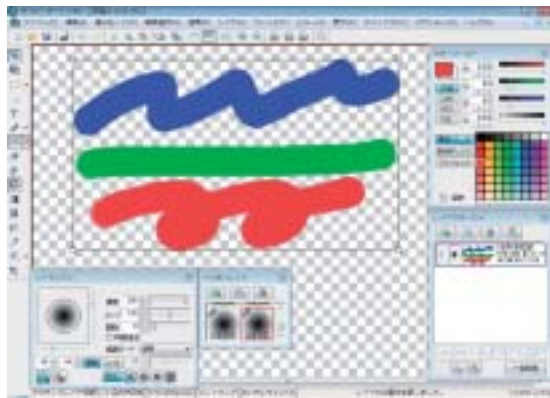
マウスのカーソルを使いたい色の上に合わせてクリックします。左上の四角い枠に、選択した色が反映されます。

キャンバス上にカーソルを移動し、左ドラッグをすると絵が描けます。描いた絵を消すときは右ドラッグをしながら、描画した部分をなぞると消すことができます。

選択した色が反映



色を選択する



他の3種類のパレットの説明をします。

(操作の詳細はソフトウェアマニュアルの39ページを参照)

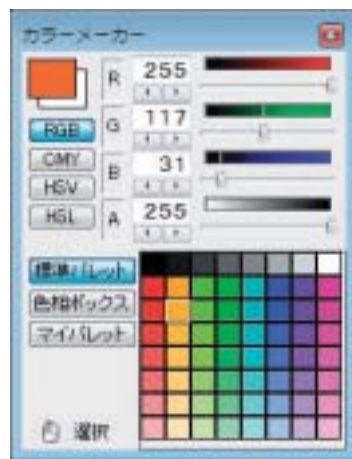
カラーメーカー

右図では[R] 赤 [G] 緑 [B] 青 の組み合わせから色を作り出しています。スクロールバーにマウスのカーソルを合わせてドラッグをすると光の強さ(色の濃さ)を調節できます。そして、RGBの3色を混ぜて作った色が左の四角の色に反映されます。

[C] シアン [M] マゼンタ [Y] イエロー から選択する場合は [CMY] を選択します。

スライダーはRGBの光の三原色とCMYの色の三原色を用いて色を作っています。

[A] は透明度 を示しています。値を低くすると透明になります。



色相ボックス

基本操作は[標準パレット]と同じですが、暗い色や黒の作り方に特徴があります。暗い色を作るときは右にあるスクロールバーを下にします。上にスクロールすると明るい色になり、下にスクロールすると暗い色になり、一番下までスクロールすると黒になります。

部屋の明るさを調節する電気のつまみのようなイメージです。

スクロールバー

マイパレット

オリジナルの色を登録することができ、使用した色の履歴を8個まで自動で保存することができます。

- それぞれのパレットから登録する色を選択します。

[選択方法]

マウスのカーソルを登録したい色の上に合わせ左クリックをします。

- マイパレットをクリックします。

マウスのカーソルを登録したい場所に合わせ、右クリックをします。

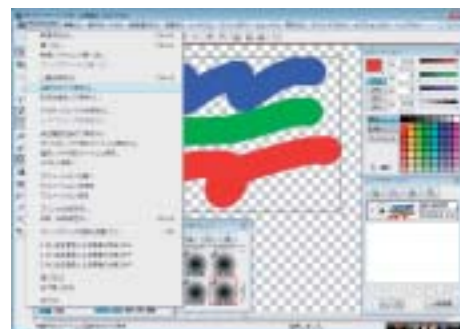
選択した色が登録されます。

作成した色の履歴はマイパレットの下に使用した順に保存され、古い順に削除されます。



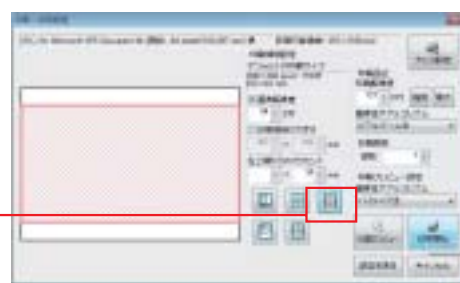
ファイルに保存しよう

- 1 メニューバーの[ファイル]から[名前をつけて保存]を選択します。
- 2 保存先を選択してファイル名を入力します。
[名前をつけて保存]で保存をするとファイル形式はDAF形式となります。DAF形式はレイヤ構成情報・出力領域・印刷設定・範囲選択の情報が保存されます。



印刷をしてみよう

- 1 ファイルから[印刷・印刷設定]を選択します。
- 2 右図のサブウィンドウが表示されます。これは、作成した画像が設定した用紙に収まらないときは縮小、小さいときは拡大して出力されます。
右図の場合は93%縮小されています。
- 3 用紙の向きは[印刷・印刷設定]のサブウィンドウのプリンタ設定から設定します。
- 4 被写体の印刷配置は[印刷領域設定]で変えます。推奨は[印刷領域内に最大に配置する]を選択します。この配置は被写体を画面の中央に最大の大きさに配置します。
- 5 印刷プレビューをクリックすると[印刷プレビュー]のサブウィンドウがキャンバス上に表示されます。
- 6 印刷開始をクリックすると印刷が開始されます。
(詳細はソフトウェアマニュアルの34ページを参照)



印刷領域内に最大に配置する